

# 「果たして自治体病院は不要なのか？」

## —その存在意義を考える—

日時：令和2年1月29日（水）

- ・開 会 午後1時15分
- ・講 演 午後1時30分～3時
- ・質疑応答 午後3時～3時30分

場所：日野町文化センター（日野町根雨 129-1）

いせき ともし

講師：伊関 友伸 氏

城西大学経営学部マネジメント総合学科教授

入場無料

申し込みは不要です！

### 経歴

- ・1987年埼玉県庁入庁
- ・県民部県民総務課、川越土木事務所管理課、出納局出納総務課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課、社会福祉課、県立精神保健総合センター、1995～6年度大根町企画財政課長（県派遣）に勤務
- ・2004年4月から城西大学経営学部助教授
- ・総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」委員（2008年度）
- ・内閣府「公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会」委員（2015・2016年度）
- ・総務省「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会」委員（2016・2017年度）
- ・医学書院「病院」編集委員
- ・研究テーマ：行政学（行政評価、公的組織の変革、地域医療問題、自治体病院の経営変革）
- ・博士（福祉経営：日本福祉大学から授与）

### 著作

- ・『人口減少・地域消滅時代の自治体病院経営改革』2019年12月
- ・『自治体病院の歴史 住民医療の歩みとこれから』2014年
- ・『まちに病院を！—住民が地域医療をつくる』
- ・『地域医療—再生への処方箋』
- ・『まちの病院がなくなる!?—地域医療の崩壊と再生』
- ・『自治体再生戦略—行政評価と経営改革』（共著）
- ・『実践・行政評価—事例、解説、そしてQ&A』（共著）
- ・『政策評価の方法とシステムについて』（埼玉県庁）



主催：鳥取県日野郡連携会議